

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

1 開 会

司会（染谷課長）

皆様、おはようございます。定刻になりましたので、ただ今から令和6年度第1回久喜市児童福祉審議会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます、子育て支援課の染谷でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに、委員2名について交代がございましたので、ご報告いたします。

お一人目は、中央児童相談所から「児童福祉関係者」として委嘱させていただいておりました、大木正仁様の人事異動に伴うご後任として、本日ご欠席の連絡をいただいておりますが、猪野塚将委員を、4月1日付けで委嘱させていただきました。

続きまして、久喜市小・中学校長会から「教育関係者」として委嘱させていただいておりました嶺由美様のご後任として、同じく久喜市小・中学校長会より推薦をいただき、青山里美委員を4月1日付けで委嘱させていただきました。

それでは、新たにご就任いただきました青山委員に一言、自己紹介をいただきたいと思っております。青山委員、よろしくお願いいたします。

（青山委員自己紹介）

ありがとうございました。

それでは、続きまして、本日の出席委員数について、ご報告申し上げます。委員16人中、出席委員11人で過半数に達しております。本審議会は久喜市児童福祉審議会条例第6条第2項の規定により成立いたしますことをご報告いたします。なお、猪野塚将委員、小林保委員、

矢羽田梨絵子委員におかれましては、欠席とのご連絡をいただいております。

次に、会議の公開と会議録の作成につきまして、皆さまにご了解をいただく事項がございます。会議の公開でございますが、久喜市では審議会等の会議は原則公開とし、会議の傍聴を認めておりますことから、本審議会も傍聴を希望される方がおりました場合は対応させていただきますのでご了解をいただきたいと存じます。

本会議の内容につきましては、事務局におきまして会議録としてまとめる関係上、録音をさせていただきますので、この点につきましてもご了解をいただきたいと存じます。また、発言される方にはマイクをお持ちしますので、録音のためにご協力をお願いいたします。

また、本日は久喜市こども計画策定等支援業務委託の受託業者である株式会社ぎょうせいの2名にも同席いただいておりますことをご報告させていただきます。

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。

次第の「2 あいさつ」としまして、吉倉会長からごあいさつをいただきたいと存じます。

2 あいさつ

吉倉会長

改めまして、皆様こんにちは。

令和6年度がスタートいたしまして、皆様のところにも新しい風が吹いて、新しい人や新入生が入ってきて、「よし、頑張るぞ。」と良いスタートが切れたのではないかと推察いたします。また、早いもので、桜の季節もあっという間に過ぎ、田んぼに水が入り、田植えも進んでいます。昨日、通りすがりにおじいさんと園児たちを見かけました。田植えの体験かと思いますが、これから田んぼに入ろうとしている子どもたちが本当に嬉しそうにしており、弾けるばかりの歓声とエネルギー、目をキラキラとさせている子どもたちの表情を見て、その様子に私も非常に元気をもらいました。この後、この子達は泥んこで園に帰ったらどうするのだろう、先生方はどうされるのだろう、と思ったひとコマがありました。改めて、子どもたちは素晴らしい宝物であると感じました。

話は変わりますが、新聞記事にあった少子化の問題です。国からの発表によれば、前年度よ

り33万人少ない1401万人、43年連続減少、ここ50年で15歳未満のこども数は半減したとあり、教育も学校も減っていると実感いたしました。また、一週間ほど前に見たニュースによりますと、このまま若い世代の晩婚化の状況が続けば人口減少に歯止めがかからず、更に人口減少が進むことで全国自治体の4割が20歳から39歳の女性の人口が50パーセント減少するために自治体が消滅する可能性があるということを知り、ゾッとしました。自治体が無くなるとはどういったことであろうと。やはり、少子化問題は私たちが真摯に取り組まなければならない問題であると非常に思いました。でも、一朝一夕に人は産まれるとは思いません。そのため、産まれてきたお子さんを社会全体で支える、そのようなシステムが必要となります。久喜市には子育てプランがあり、それらを着実に実現していかなければなりません。世の中がどのように変化していくか先行きが不安で、若い人が将来を見通しにくい状況にある中で、少子化への対応も中々難しいことであると実感し、右往左往するここ数日でした。

令和6年度で久喜市の現行の子ども子育て応援プランは終結を迎え、次のプランを考えていかなければならない、そのような局面に立っております。様々な方面の豊富な経験と知見をお持ちの委員の皆様がお集まりですので、ぜひ、お考えを出し合ってください、こどもたちがその子らしく、より良く、希望を持って育っていけるようにお力添えをいただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

3 議 事

司会（染谷課長）

ありがとうございました。

現在、嶺副会長が退任されたことに伴い、副会長が不在となっております。久喜市児童福祉審議会条例第5条第1項の規定により、会長及び副会長をそれぞれ1人置くこと、委員の互選によりこれを定めることになっておりますことから、副会長を選出する必要がございます。

副会長の選出について、どなたか推薦、あるいは、何かご意見がございますか。

吉倉会長

本日ご就任いただいたばかりではございますが、嶺前副会長の後任ということであり、校長会の代表であることから、私は青山委員を推薦させていただきたいと思います。皆様、いかがでしょうか。

(異議なし)

司会 (染谷課長)

それでは、青山委員、お引き受けいただけますでしょうか。

青山委員

はい。

司会 (染谷課長)

ありがとうございます。それでは、青山委員を副会長に決定させていただきます。青山委員、よろしく願いいたします。

早速ではございますが、副会長の席を用意しておりますので、青山委員におかれましては、ご面倒お掛けいたしますが、副会長席へお移りいただき、ひとことご挨拶をいただきたいと思っています。

青山副会長

ありがとうございます。こちらの審議会の条例に基づきまして、初めてではありますが審議会に参加させていただきます。子どもたちが安心して、あるいはそれぞれのご家庭が安心して子育てができて、子どもたちがより楽しく充実した生活を送れるように、皆様と一緒に考えさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

司会（染谷課長）

ありがとうございました。

次に、議事に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。事前に送付をさせていただきました資料を併せてお手元にご用意お願いいたします。

はじめに、事前にお送りした資料として、

- ・ 次第
- ・ 資料 1（案） こどもと子育て家庭の生活に関する調査票（支援機関等）
- ・ 資料 2（案） こども・若者の意識と生活に関するアンケート

続きまして、本日机の上に置かせていただいた資料です。

- ・ 参考資料 1 「久喜市児童福祉審議会条例」
- ・ 参考資料 2 「久喜市児童福祉審議会委員名簿」
- ・ 資料 2（案） 表紙の差し替え

の 3 点でございます。

以上、資料はお揃いでしょうか。お手元に無い資料がございましたら、お持ちいたしますので、お申し出いただきたいと思います。

それでは、次第「3 議事」に移らせていただきます。

議長につきましては、久喜市児童福祉審議会条例第 6 条に基づき、会長が議長となりますので、吉倉会長に議長をお願いします。

（1）久喜市こども計画の策定に係るアンケート（案）について

議長（吉倉会長）

それでは、議事に入らせていただきます。

先ほど、事務局から会議録の作成について説明がありましたが、事務局が会議録を作成後、代表の 2 名の方に署名をいただきたいと思います。前回、令和 6 年 3 月 26 日に開催した際は小林委員と奈良委員が署名人となりました。引き続き、出席者の中から名簿順で、今回は齋藤

委員と篠原委員を署名人といたしますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の議題に移りたいと思います。議事の（１）久喜市こども計画の策定に係るアンケート（案）のうち、①こどもと子育て家庭の生活に関する調査票（支援機関等）について、事務局から説明をお願いします。

事務局（近藤課長補佐）

（資料１に基づき説明）

議長（吉倉会長）

ありがとうございました。

ただいま、①こどもと子育て家庭の生活に関する調査票（支援機関等）について、説明がございましたが、何かご質問はございますか。ご質問のある方はお願ひいたします。

山本委員

資料３ページの間８の文言ですが、「保護者とこどもの関わり方、関係について感じること、気になる状況がありますか。」とありますが、これは保護者が自分のこどもへの関わり方なのか、それとも保護者への支援者の関わり方なのか、こどもへの支援者の関わり方なのか、あるいは保護者とこどもの関わり方か、とその部分が気になったところです。

議長（吉倉会長）

ありがとうございました。

資料３ページの間８の質問項目について、主語がどのようになっているかの質問ですが、事務局はいかがでしょう。

事務局（近藤課長補佐）

こちらにつきましては、支援機関・団体の皆様から見た視点での設問ですので、設問の内容

を少し訂正させていただき、支援する側から見て感じる事、気になる状況があればという内容の設問に改めさせていただきたいと思ひます。

議長（吉倉会長）

ありがとうございます。こちらは支援機関に対して発出する文書でありますので、支援者から見てという内容で改善していくことでよろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

小原委員

主任児童委員という立場から、問12で常に連携している、必要に応じて連携している機関の回答項目に、「主任児童委員」とありますが、日頃、小・中学校の生徒指導委員会等に参加している中で、学校から相談を受けるということは本当に少なく、中学校から相談があつてもその兄弟姉妹の小学校の校長先生や他の先生方に問い合わせをしてもなかなか窓口を開いていただけないということがあります。主任児童委員を知らない方が多いため、主任児童委員だけでなく「民生委員」を付け加えていただけると分かりやすいのかなと思ひます。質問ではありませんが、よろしくお願ひいたします。

議長（吉倉会長）

ありがとうございました。4ページの問12の回答の中に「主任児童委員」とありますが、主任児童委員さんの立場からすれば、「民生委員」を加えていただけないだろうかということですが、いかがでしょうか。

事務局（近藤課長補佐）

ありがとうございます。承知いたしました。付け加えさせていただきます。

議長（吉倉会長）

ありがとうございます。対応をよろしくお願ひいたします。

事務局（染谷課長）

「主任児童委員」という回答項目を「民生委員・主任児童委員」に修正するということよろしいでしょうか。

小原委員

はい。

議長（吉倉会長）

他にいかがでしょうか。

他にご意見等も無いようですので、議事の（１）のうち、①につきまして、皆様に確認をいただき、ご提案、ご指摘いただいた箇所を修正することで、ご承認いただくということよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

続きまして、②子ども・若者の意識と生活に関するアンケートについて、事務局から説明をお願いします。

事務局（近藤課長補佐）

（資料２に基づき説明）

議長（吉倉会長）

ありがとうございました。ただいま、②子ども・若者の意識と生活に関するアンケートについて説明がございましたが、何かご質問等はございますか。

奈良委員

この「子ども・若者の意識と生活に関するアンケート」の調査票の説明を受けた上で、先ほどの①の調査票について確認したいです。こちらのアンケートは１５歳から３９歳までの市民

2,000名を無作為に抽出するとのことですが、①では支援機関等への調査であり、対象数はいくつにするのか、支援機関がたくさんある中で支援機関の何名に回答をお願いするのか、支援機関の割合があるのかどうか、お聞きしたいと思います。

会長があいさつでも話されていた少子化について、久喜市も少子化であると思いますが、児童は待機児童をつくらないように大規模化している状態であり、今後、久喜市のこども計画の策定にあたって支援機関に調査することは大事なことであると思ひまして、そこをお聞きしたいなと思ひます。

議長（吉倉会長）

資料2は無作為抽出して市民2,000名を対象にアンケート調査を実施するということができたが、資料1は問1において様々な所属先や職業が回答項目にあり、調査対象の支援機関はどの程度を考えているかという質問でよろしいでしょうか。事務局から回答をお願いします。

事務局（近藤課長補佐）

前回の調査の対象機関は、公的な機関、社会的養護をする機関、福祉関係機関、療育関係機関、支援団体と大きく分類しており、前回は82の支援機関・団体にご協力いただいたところです。計画期間の間に支援団体の種類や数が増え、こどもの福祉関係機関、障がい児に関する相談機関等を追加しており、今回は100の支援機関・団体を目安にしております。福祉関係機関・教育関係機関のそれぞれが4割強で構成されていたところです。

議長（吉倉会長）

ありがとうございます。前回の状況を踏まえて、障がい者福祉施設や新しい支援機関・団体を加えて範囲を広げたということで、量としては十分ではないかと推察できます。

他にいかがでしょうか。

加藤委員

確認ですが、15歳から39歳での2,000人の無作為抽出について、年代ごとに男女比や人数等のバランスは配慮してありますか。

議長（吉倉会長）

調査対象が2,000名ということで膨大な人数であり、年代が15歳から39歳と幅広いものですが、その中のバランスについて確認ということです。いかがでしょうか。

事務局（近藤課長補佐）

無作為抽出にあたりましては、久喜地区・菖蒲地区・栗橋地区・鷲宮地区の人口構成割合から2,000人の振分けの目安を出し、年代別の割合として5歳ごとに5つの区分に分け、総人口に占める15歳から39歳の割合で振分ける形を考えております。

加藤委員

地区によって人口バランスや利便性等も異なりますので、地区別に振分けるということであれば、設問の中に居住地区も入れることで、そこを勘案して判断していただければと思います。私は菖蒲地区ですが、交通の便や教育機関、子育て支援機関等で他と比べて不便な点が多いと思っておりますので、同じように評価することはどうかと思い、住んでいる地区による対象者の構成を考慮していただきたいです。

議長（吉倉会長）

事務局からの説明において、各地区の人口構成に対して年齢別等で振り分けるという説明でしたが、加藤委員のご意見として地区によって価値観や実情が異なるということで、人口の増減や世帯構成についても地区によって違いがあるため、それらの点について配慮して振り分けられれば良いのではないかというご質問です。いかがでしょうか。

事務局（近藤課長補佐）

各地区の地域特性があり、その中から課題も出てくると思いますので、設問の間1～3までの基本属性の設問に地区別の設問を加えさせていただこうと思います。

議長（吉倉会長）

中々難しいことであるとは思いますが、地区ごとで分けて良いのかという点もありますが、全体で「久喜市民」ですので事務局でよく検討していただくということでもよろしいですか。他にいかがでしょうか。

山本委員

「こども・若者の意識と生活に関するアンケート」の内容は後半でかなり踏み込んだ設問になっております。冒頭のあいさつ文の内容が「このアンケートは、若い世代の久喜市民の皆さんの生活状況などを把握して、市の計画や事業を進めるために」とさらりと書いてあります。対して、資料1では「久喜市のこども・子育て支援施策の推進のため」「効果的な施策の検討や連携の強化」と記載されています。「こども・若者の意識と生活に関するアンケート」が初めて実施されるアンケートということであれば、このような市を作っていきたいためアンケートに協力をお願いします、久喜市の計画のために実施します等の大きな目的をあいさつ文に取り入れてはどうかと思います。アンケートの内容が踏み込んだものとなっており答えにくかったとしても、回答した内容がこのような施策につながる、計画に反映したい等があいさつ文であれば良いと思いました。

また、4ページの間18について、回答項目が結婚したいと思う、家族を持ちたいと思うというように、すると思うかどうかではなく、将来にどのような気持ちを持っているか、希望を持っているか、と聞いた方が答えやすいのかと思いました。

議長（吉倉会長）

一つは、アンケートが踏み込んだ内容となっているという印象があり、初めて実施するアン

ケートであるということを踏まえ、冒頭のあいさつ文にこのような施策に反映する、久喜市は何を目指している等の具体的な大きな目的を掲げ、回答するにあたって前向きに思えるものが良いのではないかとということです。

また、4ページの間18について、希望的な言葉が良いのではないかとという提案でしたが、いかがでしょうか。

事務局（近藤課長補佐）

冒頭のあいさつ文については内容を検討させていただきます。

4ページの間18につきましては、設問の「もつと思いますか」を「もちたいと思いますか」という希望的な文言に改めさせていただき、回答項目についても前向きな選択肢に改めさせていただければと思います。

議長（吉倉会長）

あいさつ文は若者が市の施策に参加できるという文章に変更し、間18の設問と回答項目の文言も希望的な表現となるように変更するというところでよろしいでしょうか。

事務局（近藤課長補佐）

補足させていただきます。現在の回答項目の選択肢を活かしつつ、「思う・もちたい」というような形で、前向きな捉え方ができるよう改めさせていただければと思います。

議長（吉倉会長）

より選択しやすい改善案が提案されました。

奈良委員

山本委員の話聞き、若者たちが市の計画に参加できるということを感じられるような内容にしていきたいと思います。

議長（吉倉会長）

ありがとうございます。他にございますか。

他にご意見等も無いようですので、議事の（１）のうち、②につきましても、ご提案、ご指摘いただいた箇所を修正することで、ご承認いただくということよろしいでしょうか。

（２） その他

議長（吉倉会長）

続きまして議事の（２）、その他になりますが事務局から何かございますか。

事務局（近藤課長補佐）

前回、速報としてご案内いたしました、子ども・子育て支援に関するアンケート及び子どもの生活状況調査の集計結果につきましては、現在報告書の案を作成中でございます。

次回の審議会で、お配りする予定でございますので、よろしく願いいたします。

議長（吉倉会長）

前回は速報値ということで回答数について報告がありましたが、現在分析中ということで大事なプロセスを行っているところです。ここからどういう結論を導き出すか、どういうことに要望があるのか、それらを把握するためにも丹念に分析することが重要であります。今、その作業を行っているということで事務局から報告がありました。何かご質問等はございますか。

以上をもちまして、本日、予定していた議事が終了となりました。これで議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

４ 閉 会

司会（染谷課長）

ありがとうございました。

以上で、本日予定していた議事が終了いたしました。

閉会にあたりまして、青山副会長にごあいさつをいただきたいと存じます。

青山副会長

本日、議事では、久喜市こども計画の策定に係るアンケート案について、委員の皆様のそれぞれの立場で、様々な意見が出まして、より良い久喜市のこども計画の策定ができるような、方向性を見出せたかと思えます。今後どうぞよろしく願いいたします。

司会（染谷課長）

ありがとうございました。

委員の皆様には、公私ご多忙中のところご出席いただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第1回久喜市児童福祉審議会を閉会とさせていただきます。
ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和6年 6月 5日

齋藤 雄一

篠原 祥子

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。